
1 ■ 「二語文の練習」【国語】

【使用場面】

・絵を見て文の完成

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 名詞、接続詞、助詞を色分けし、選びやすいようにした。
- ② マグネットを使用した。
→生徒は楽しみながら学習に取り組んでいた。
家庭用も用意し、学校と家庭の両方で取り組むことで、定着を確かに行うことができた。



2 ■ 「ジオボード(授業ではゴムボード)」【国語】

【使用場面】

・目の機能を養う学習(目的に応じ、算数・数学、自立活動も可)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 見本を何枚か選ぶ(生徒の実態に合わせ、難易度を調整)
- ② 児童・生徒は、輪ゴムを使って見本と同じ形を再現する。
- ③ できたら、釘の列や個数、向きが見本と同じか確認する。
→理解が難しい場合、最初に、輪ゴムを縦や横に引っ掛ける形を再現させた方が良い。斜めや交差が多い形は難しい。



3 ■ 「紙皿シアター」【国語】

【使用場面】

・物語に注目し、問いに答えるなどのやり取りを楽しむ。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 紙皿を回しながら物語を進める。ヒントを出し、次に出てくる動物を予想させる。
- ② 教員は反応を見て、ヒントを出すタイミングや回す速さを変える。
→絵が切り替わることでよく注目し、話の流れがパターン化しているので物語を理解し、教員からの問いに、児童は積極的に答えた。



4 ■ 「えがらとごいのマッチング」【国語】

【使用場面】

・気持ちや状況を表す絵柄と語彙をつなぐ。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① シンプルに気持ちや状況を表す絵柄をホワイトボードに貼る。
- ② マッチングさせる語彙には、既習の物を含める。
- ③ マッチング可能な言葉は、一つとは限らず、選んで語彙を貼ったホワイトボードを生徒間で確認し合い、他にも当てはまる表現があることを学習することができる。



→ホワイトボードに注目することが困難な生徒には、個別に絵柄を示す必要があった。

5 ■ 「50までの数の足し算・引き算」【算数・数学】

【使用場面】

・足し算と引き算(繰り上がりと繰り下がり)の理解)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

例(21-4=17)

- ① 21個のマグネットを21の下に置く。
- ② 21の下から4個のマグネットを4の下に移動する。
- ③ 残ったマグネット17個を右辺に持っていく、それが答えとなる。その際、10個の束が1つになっているので、十の位が1になることを確認する。



6 ■ 「足し算の答えの確かめ」【算数・数学】

【使用場面】

・生徒が足し算の答えを自分で確かめる。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 式のマスに水性ペンで数字を入れる。
- ② 数の下のマスに数字の数だけマグネットを貼る。
- ③ 全てのマグネットを、数字を書いたマスに貼ることで、答えを確かめられる。



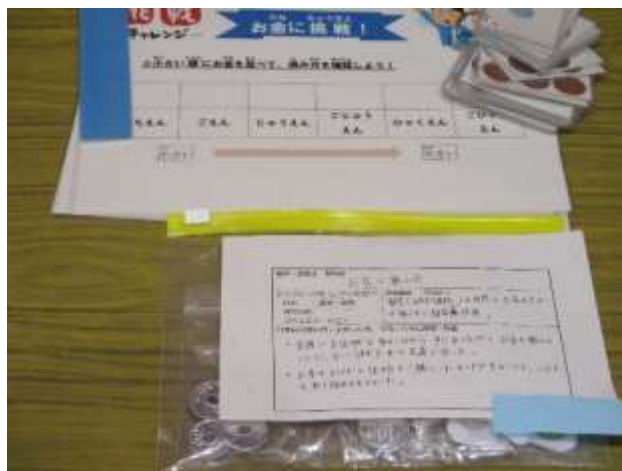
7 ■ 「お金の数え方」【算数・数学】

【使用場面】

・お金(金額)の大小を考えたり、
数え方を練習したりする。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 具体物を動かしながら、声をしてお金を数えることで、正しく金額を読む力を定着させることを図った。
- ② お金のイラストと読み方を一緒にしたカードにすることで、一人でも取組めるものとした。



8 ■ 「数字を読もう」【算数・数学】

【使用場面】

・1～10の数字を順に読む。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① かわいいイラストで、やる気がアップします。
- ② 洗濯ばさみを留めながら、ゆっくりと数唱することができる。



9 ■ 「うどんすごろく」【算数・数学】

【使用場面】

・買い物学習

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① サイコロが止まったマスの天ぷらを注文することができる。
- ② 注文した天ぷらを伝票に追加していき、ゴール後、スマホや電卓で計算をし、支払いをする。
→ゲーム形式で、生徒の興味・関心を引き出すことができた。



10 ■ 「世界地図すごろく」【社会】

【使用場面】

・世界の国々の名物を知る。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①備品の世界地図にビニールシートを重ねて、すごろくにした。
- ②自分の好きな国からスタートし、サイコロを振って進む方向を決め、名物のある国に向かう。赤い点の国に着いたら名物カードをもらえる。たくさんカードを集めた人の勝ち。

→名物カードも自分たちで作ったので、生徒は行きたいところを決めやすかった。数を数えながら進むので、算数・数学の要素もある。



11 ■ 「分別ゴミ変身ボックス」【理社】

【使用場面】

・環境学習(ごみの資源化のための分別)の導入

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・生徒へごみ出しに関するアンケートを実施し、ほとんどの生徒がごみ出しの手伝いを行ったことがあることが分かった。しかし、出したごみのその後については、知らない生徒が多かったので、正しい分別で、ごみの資源化ができることをごみの変身(①ペットボトルを入れる②魔法をかける③開くと布・繊維が出る)という演出で興味・関心を高め説明しやすくした。



12 ■ 「和柄の型」【美術】

【使用場面】

・和柄を描く。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・トレーシングペーパーにカーボン紙で写した線を、デザインナイフで切り抜いた。

→生徒はセンスを生かし、好きな線を描いた。



13 ■ 「にじ」パネルシアター【音楽】

【使用場面】

・季節を意識しながら、曲を楽しむ。
(肢体不自由教育部門の生徒を中心に)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・「にじ」の曲に合わせてパネルシアターを見せた後、「見上げてみれば～」のサビで虹が描かれた布を生徒の頭上で揺らす。

みんなで見上げることができるように、大きめの布に虹を描いた。

→パネルシアター、虹を描いた布共に生徒はよく見た。車椅子に乗ったまま布を頭上で揺らすのもよいが、マットに降りて活動するときにも使える。



14 ■ 「トーンチャイム用楽譜」【音楽】

【使用場面】

・担当するトーンチャイムを鳴らすタイミングが分かるようにする。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

① トーンチャイムの取っ手には、楽譜の色と同じ色の紙を貼る。

② 生徒皆に演奏出番がある音数になるように選曲する。

→ 回を重ね、見通しが持てるようになり、教員が指揮棒で楽譜を追うと、タイミングよく演奏(音を出すこと)ができる生徒が増えた。楽譜を段ボールで裏打ちし、長机を立てて貼ると見やすくなった。



15 ■ 「さつまいもほり体験セット」【音楽】

【使用場面】

・季節を意識しながら曲を楽しむ。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・「いもほりのうた」の曲に合わせてさつまいものつるを引っ張って掘り起こす活動ができる。芋が埋まっている段ボール箱は、教員も下からも引っ張ることができるので、生徒の引っ張る動きや力を維持できる。

→教員も引っ張っているのに、なかなか抜けず、両手を使って力をこめる生徒がいたり、抜けたときに嬉しかった様子で笑顔が見られたりする生徒もいた。



16 ■ 「ティーボール用バット」【体育】

【使用場面】

・ティーボールでボールを打つ

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①通常のバットのように使用する。
- ②当てやすいように当たる部分を大きく、そして、軽く仕上げるためペットボトルを使用した。
- ③持ち手に滑り止めを付けた。



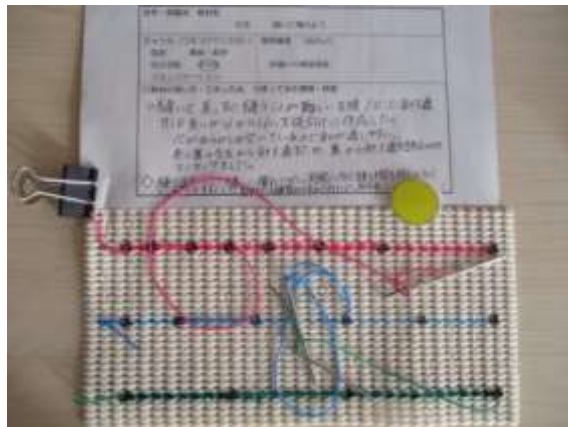
17 ■ 「縫い」に慣れよう【生活】

【使用場面】

・手縫いの練習

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・真っ直ぐに縫うことが難しい生徒やどこに針を通せばよいか分からない生徒向けに、穴を予め作り、針を通しやすくしたり、裏から針を通す部分のみマーキングし、表と裏の交互から針を通すことが分かりやすくなるようにしたりした。→繰り返すことで手縫いに慣れてきた。教材での練習が活かされ、他の布でもマーキングすることで縫うことができた。



18 ■ 「キョヨーくん」【作業】

【使用場面】

・ラベル張り作業時の検品に使用

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・ラベルの貼付位置が許容範囲内か、一目で判断できるようにした。袋を複数枚重ねて確認することができるようにした。→扱いやすいので、今後、生徒の使用も可能と考える。黒いマスキングテープを貼ったビニールの強度が弱いので、時間が経つと少し曲がるので、補強の必要があった。



19 ■ 「手作り得点版」【体育・算数・数学】

【使用場面】

・「ポッチャ」の得点を示す、知る。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①板が立つよう三角錐のような形にし、持ち運びしやすいよう、折り畳み式にした。
- ②一の位、十の位が分かりやすいよう、色分けした。



20 ■ 「よく見て置いてみよう」【自立活動】

【使用場面】

・マッチング、見比べる力をつける個別課題

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①（おはじきのマッチング）いろいろなジャンル、カラフルな色を準備し、ジャンルを変えたり、混ぜたりできる。
→楽しそうに取り組んだ。
- ②（ワッパンを貼ろう）4, 6, 9のパターンの台紙を用意。
キャラクターとシルエットだけのワッパンも用意。
キャラクターからシルエットへとステップアップできるのがよかった。



21 ■ 「ブルーベリーのはんこ」【自立活動】

【使用場面】

・ブルーベリー摘みのお礼状作成

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・肢体不自由教育部門の生徒がはんこを持って、好きなところに模様をつくれるよう、100均購入の取り付け用のフックを持ち手にした。はんこを替えられる。
→持ち手に緩衝材を巻く、スポンジを間に挟むことで、生徒がしっかり握ることができた。



22 ■ 「ビーズ通し」【自立活動(数学)】

【使用場面】

・視機能や指先の調整を養う学習

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 初めの1個は教員が通す。
- ② ビーズを見本と同じように通す。
→弁別可能なら色ごとに分けたり、
個数を指定したり、1個目から通させたり、
とステップアップできた。



23 ■ 「運筆」【自立活動(国語)】

【使用場面】

・注視と追視の操作性を養う学習

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 教員が見本を見せる。
- ② 生徒は指で始点から終点までなぞる
- ③ なぞりを繰り返したら、水性ペンでなぞる。
→マグネットの大きさや長さを調整可能。触覚でマグネット
から外れたことを認識できた。繰り返しができる。



24 ■ 「リボン結び」【自立活動】

【使用場面】

・リボン結びの練習(指の使い方、空間認知)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 手順表をめくり、結ぶ手順をクリアーしていく。
- ② 輪っかの保持が難しい場合は、クリップで固定。
- ③ 指の使い方に慣れてきたらクリップなしで行う。
→指の使い方、上下左右の理解が難しい場合は
太い紐を使用。細い紐でもクリップを使った方が
良い場合もあった。手順表は段階を細かくしたり、
大まかにしたりして調整する。



25 ■ 「ねじ回し」【自立活動】

【使用場面】

・手指の操作性を高める

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① ドライバーを使い、発泡スチロール板のねじを取り出す。
- ② ドライバーを使い、取り出したねじを発泡スチロール板に戻す。
→生徒の実態に応じ発泡スチロール板を固定すると良い。ドライバー操作が難しい場合、教員がねじ頭を出してから生徒が指でねじをひねって取り出す。



26 ■ 「玉どめでテントウ虫を完成」【自立活動】

【使用場面】

・玉どめの練習(生活)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① やってみようと思わせる形にこだわった。
→ちょっと小さすぎて、やりにくかった。
- ② 生徒の技量と意欲で、玉は2個以上ならOK。
→玉どめは緩まないように根元をとめるのが難しい。ある程度、練習量が必要だと感じた。



27 ■ 「アイスクリームを作ろう」【自立活動】

【使用場面】

・手順表見て取り組む、マッチング、手指の巧緻性

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 手順表を渡し、それを確認しながら1～4までのアイスクリームを完成させる。
- ② 3パターンの手順表で、何度も取り組むことができる。
→上に重ねていくので、少し難易度が高いマッチングとなる。慣れてくると一人で取り組むことができる。



28 ■ 「おしりたんてい津久井養護学校の給食の会事件」【自立活動】 ＝シナリオ、教材、お面、ペープサート、BGM

【使用場面】

・食育(栄養素、献立選び、食事の大切さを知り健康の保持につなげる)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・教材を壁に貼り、物語のシナリオを元に教員が4役を演じる。4色分けした栄養素を元に、盗まれたメニューを当てるなどする。犯人を当てる場面は、児童・生徒がカードを貼り応える。

→約7分の所要時間は、昼休みを使ったイベントとして丁度よかった。



29 ■ 「ペットボトルアクアリウム」【自立活動】

【使用場面】

・リラックス、注視、追視

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・伏臥位を取っている時、生徒の目線や頭部が上がるよう促す。生徒が好きなキラキラしたものを入れ、興味関心が向くようにした。→伏臥位、仰臥位どちらの姿勢の時も、ビーズやモールの動きをよく見る。リラックスし、上肢の緊張が緩和されることもある。



30 ■ 「疑似 IC カード読み取り機」【自立活動】

【使用場面】

・電車に乗る、現金をチャージする、買い物をする学習

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・スピーカーが付いているため、Bluetoothの機能を使いタブレットと接続。カードの支払い音「チャリン」を出すタイミングは、残念ながら手動なので、タイミングをつかむ練習が必要。

→チャージや支払いなど実際と近い体験ができた。



31 ■ 「巨大ビー玉ころころ台」【自立活動】

【使用場面】

・美術(ビー玉アート)を複数人数同時に行いたい時

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ① 箱の中に画用紙や模造紙、布等を置く。(裏面を養生テープ等で固定)
- ② 絵具を付けたビー玉を箱に入れ、箱の縁や箱の側面に付けてある紐を持ち、箱を動かしてビー玉を転がす。
→3~4人で作業するには丁度良いサイズだった。
透明な材料で制作すれば、肢体不自由教育部門の生徒にも、ビー玉の動きがもっと見やすくなる。



32 ■ 「動物マッチング」【自立活動】

【使用場面】

・見分ける力の育成(模型と写真カード、イラストカード、シルエットをマッチングする)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①「きりん」や「ぞう」など判別しやすい物から始め、段階的にカードを替え行う。
 - ②模型と写真のマッチング②イラストカードやシルエットカードとのマッチング
- *動物の名前を復唱しながら行う。



33 ■ 「プチプチシートをつぶそう」【自立活動】

【使用場面】

・握る力、押しつぶす力を高める。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ・棒を握り、力を込めてプチプチシートをつぶす。
→児童が興味を持って取り組み、クレヨンを握り描く筆圧が強くなった。



34■ 「土台付きカスタネット」【自立活動・音楽】

【使用場面】

・自分からカスタネットに手を伸ばし、叩く。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①カスタネットの赤い部分を固定することで、片手でも演奏することができる。
- ②ホワイトボードに付けることで、楽器が目立ち、注目しやすい。
→安定した土台で、音が鳴りやすくなり、児童の達成感が得やすかった。また、教員も支援しやすくなった。



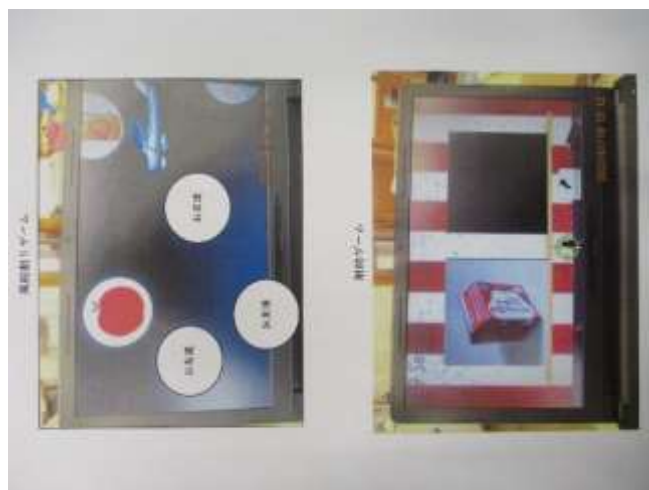
35■ 「視線入力」【自立活動】

【使用場面】

・関心を持って注視・追視

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ・生徒の好きな牛乳やりんご、友だちの写真を風船割りや射的の的にし、目で追うことができる。
- PC画面の全体を見ることは難しそうだが、友だちの顔をよく見て、風船割りや射的のゲームに取り組む様子が見られた。



36■ 「色を見ながらモール入れ」【その他】

【使用場面】

・色の識別・細かい作業・集中力の継続

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ・集中力が続かない生徒、細かい作業をしたい生徒向けに作成。慣れてきたところで本数を増やす。
→数あるカラフルなモールの中から色を合わせて穴に入れることができた。集中が切れる後半ではミスもあったため、予め必要な本数を教員が数えておき、必要な分だけ渡すようにすると、モールが変に余っていることから、間違いに自分で気づくことができた。



37 ■ 「ぱくぱくだより」【食育】

【使用場面】

・毎日、給食の喫食前に読み、その日の献立や行事食について理解、関心を深める。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

・毎日の献立の中で、その日のテーマを分かりやすく示す。教員が内容をかみ砕いて説明しやすいことや、生徒が読み上げやすい文章量に配慮する。また、裏面は「みんなのこえ」のスペースを設け、コロナ禍の中で交流が難しい状況で、子どもたちと厨房をつなぐツールとしての活用も意識している。



38 ■ 「予定カード」【コミュニケーション】

【使用場面】

・朝、一日の予定を確認する。
・一時限毎の始まり、終わりを分かりやすくし、見通しを持った生活作りをする。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①視覚障害のある生徒が触れて、教科、すること、場所、手段などの情報を得られる。
- ②カードの大きさ、凸部分の形、素材、上下の印で区別がつくようにした。
→生徒はカードを覚え、何をするか予想して]心構えする様子が見られた。



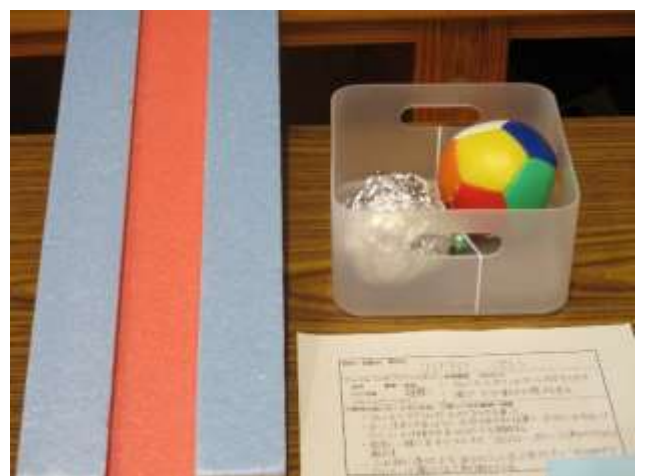
39 ■ 「コロコロ ポトン」【注視・コミュニケーション】

【使用場面】

・使うものの選択、ボールの転がりを見る。
・言葉かけへの応答。

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①アルミ玉とカラフルボールのどちらかを選ばせる。
- ②玉に注目しやすいよう、見やすい位置に玉やレールを近付けたら、レールの傾き、玉のスピードを加減したりする。
- ③玉をレールに乗せ、「コロコロ～ポトン」と声をかけながら転がす助けをする。
- ④落ちた玉を「ありがとう」と言って受け取ったり、「もう一回やりたい人」と聞いたりして、応答を促す。



40■ 「じゃんけんぽん」【コミュニケーション】

【使用場面】

- ・じゃんけんするのが難しい児童がじゃんけんに参加する。
(地域小学校との交流授業でじゃんけん列車をした際使用)

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ①手にフィットしやすいよう、持ち手をビニールテープで巻き握りやすく、ケガをしにくくした。
- ②本来の3通りではなく、2通りにし、くるりと返すだけで絵柄を替えられるようにした。
→児童が絵柄を替えやすくよかった。



41■ 「簡易式ボッチャボードコート」【コミュニケーション・体育】

【使用場面】

- ・(肢体不自由教育部門)体育

【教材の使い方・工夫した点・使ってみた感想】

- ・いつでも正式なボッチャコートでボッチャができるようにした。紐を組み立てるだけなので、絡まりに注意さえすれば、うまく使える。
→実際に使い、ボッチャを楽しむことができた。

